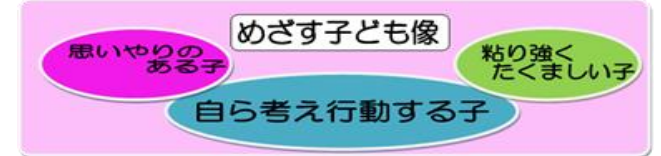




人権尊重を基盤とし、創造性豊かで積極的に行動する子どもの育成
めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校
みんなが安心できる居心地のいい学校
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校）



平成30年（2018年）6月27日発行・野畑花だよりは、野畑小学校のホームページでもご覧いただけます。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nobatake/

明日、6月28日（木）は、 野畑小学校の44回目の

創立記念日です！！

学校の授業はお休みになりますが、放課後こどもクラブ（なかよし学級）は、1日開設します。職員室も開いています。

【創立当時の町の様子】（20周年記念誌より抜粋）

野畑小学校は、昭和49年（1974年）4月、桜井谷小学校が児童の増加により分割され、千里川を挟んで河岸段丘の地形を持ち、雑木林と竹藪の緑の中に住宅が点在する旧野畑の地の雑木林の一部を切り開いて、豊中では32番目の新設校「豊中市立野畑小学校」として誕生しました。校区は、永楽荘全域、春日町3丁目～5丁目、向丘、北緑丘にわたりました。初年度は、5年生以下15学級のスタートでした。

昭和53年（1978年）北緑丘小学校・桜井谷東小学校新設のため、北緑丘地区は北緑丘小学校へ、向丘1丁目は、桜井谷東小学校へと校区変更しました。



1974年当時の野畑小学校



ぼくは、ノバード！

野畑小学校創立以来野畑小学校に住み着いているキジ。

名前は、子どもたちにつけてもらったんだよ。

今、校長室前に飾ってあるキジの剥製は、山を切り開いて野畑小学校の新校舎をつくったとき、新しい校舎の窓ガラスにぶつかって命を落としたキジだそうです。当時の人たちがかわいそうに思い剥製にして保存したということです。キジと山鳥を合わせて4羽の剥製が保存されています。



野畑小学校校歌

近藤万里子作詞
井伊弘作曲

♩ 行進曲風: 1.20レ 4/4

1. せりのかおのせーせーらぎに みみかたむけまーなぶまど
2. みどりのかぜのふーきーあたあむむかいがおかにひーらーくにわ
3. みのおのやまみあーおーきみて よろこぶのうたうーたーうとき

ひとーりひとりがたいせつに みみかたむけまーなぶまど
ひとーりひとりがひたーすらに ほげーみきたえたこーのちから
ひとーりひとりのほほーえみかた こころをむすぶこーのすがた

あめいふはがのびるおにきよくたぬにいきるのだああ のばたけのばたけの
さらにはばたくとりのおにたたくおおきかけるのだああ のばたけのばたけの
ともながよくてをっなきあすはがってすすむのだああ のばたけのばたけの

校章は、鳥が羽を広げて飛び立つ姿と木が芽を出してすくすくと成長する様子を児童の姿になぞらえ、世界に大きく羽ばたくことを願ってデザインされました。

校歌は、校章から児童の皆さんの姿を思いうかべ、大きく翼を広げ飛び立ってほしいという願いを込めて作られました。

創立当初は、学校の周りには、雑木林や竹藪がありました。校庭には、キジやヤマドリ、タヌキやキツネ、イタチなどがやってきました。